

# 祝 二十歳の門出 晴れやかに 決意新たに 未来へ羽ばたけ

祝 西原町 二十歳のつどい

20歳を迎える皆さんの門出を祝福する「令和5年西原町二十歳のつどい」が1月9日にさわふじ未来ホールで開催されました。  
 「二十歳のつどい」は、令和4年4月から成年年齢が18歳に引き下げられたことにより、「成人式」の名称を「二十歳のつどい」に改め、これまで同様に20歳を迎える皆さんの節目の式典として開催されました。  
 崎原盛秀町長は、「これまで支えてくれた家族や友人への感謝を胸に、新たな未来を切り開くため頑張ってください。」と激励しました。  
 参加者は、鮮やかな着物やスーツに身を包み、友人との久しぶりの再会を喜びました。



西原東中学校区代表  
 あらかわ ゆうと  
**新川 雄斗さん**

今、私たちの中には、大学や専門学校で日々勉強し自分の夢の為に努力している人や、就職し仕事に毎日奮闘している人、幸せな家庭を築いている人もいます。みんなそれぞれ目指す場所は違いますが、こうして二十歳のつどいでまたみんなが集まったことを本当に嬉しく思います。  
 ここまで過ごしてきた20年間、皆さんは何を感じますか。私は今まで出会ってきた方々への感謝の気持ちです。  
 楽しい時も辛い時も共に居てくれた友達、困った時にいつも支えになってくれた両親、お世話になった先生や地域の方々、とても多くの方々に支えられて今の自分があると思います。  
 私達は大人の仲間入りをし、自分の行動に責任を持たなければなりません。私たちはまだまだ未熟ではありますが、熱い気持ちと自信を持って自分たちの道を歩んでいきます。  
 また、社会人としての覚悟、決意を胸に刻み、二十歳の代表挨拶とさせていただきます。



西原中学校区代表  
 つは きょうか  
**津波 京可さん**

私たちはこの西原の地で育ち、家族をはじめとする多くの方々からの愛情を受け、支えられながら共に歩んできました。  
 立場はそれぞれですが、共に学び支え合い友情を育んできた仲間と今こうして二十歳のつどいを迎えることができ、とても嬉しく思います。  
 私の好きな言葉に「命どう宝」という言葉があります。命こそが一番尊い宝であることを教えてくれるこの言葉は、私の心に本当に刺さる言葉です。「コロナ禍で自暴自棄になり、何もかもやる気が起きないこともあったでしょう。しかし、未来ある私たちです。生きているだけで丸儲け、コロナ禍で先の見えない不安に駆られることもあります。私たちがならこの試練をきつと乗り越えていけるでしょう。  
 これから社会人として力強く、たくましく、覚悟を持って頑張ってください。まだまだ未熟な私たちにどうかこれからも温かい目でご指導、ご鞭撻を頂きますようお願い申し上げます。

当日の写真はこちら

